

綿100%より速乾性、吸水性良好 ～吸汗速乾肌着の性能～

環境省は温室効果ガス削減のため「クールビズ」をより進化させた「スーパークールビズ」を推奨し、更なる軽装を呼び掛けています。快適に過ごすため優れた吸汗速乾機能をうたった肌着が数多く売られています。そこでこれらの肌着の性能や加工を調べました。

テスト品

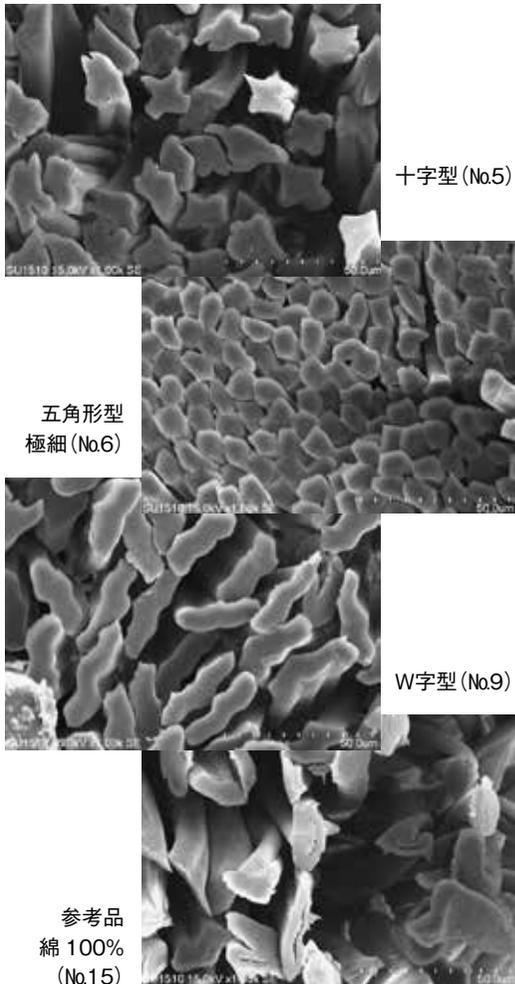
- 「吸汗速乾」「汗をかいてもすぐ乾く」「ドライ」等の表示のある紳士用肌着…14銘柄
- 参考品…1銘柄(綿100%)

テスト結果

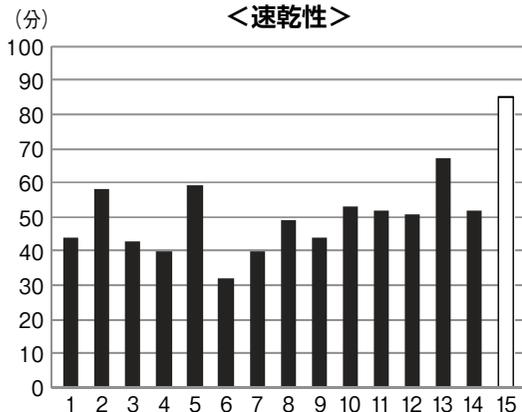
○速乾性＝試験片に一定量の水をたらし、残量水分率が10%に至るまでの時間を測定したところ、32(No6)～67分(No13)、平均49分で、綿100%の参考品(No15)の85分と比較していずれも優れていました。

○吸汗(水)性＝試験片の下端に水を浸し、10分後に吸い上げた水の高さを測定したところ66(No5)～138mm(No8)、平均101mmでした。もともと吸水性の高い綿100%の参考品と比較しても同程度、もしくはそれ以上の吸水性を示す銘柄が多く、本来吸水性のないポリエ

<拡大した繊維の断面>



<速乾性>



ステルやポリウレタン等合成繊維100%の銘柄にも参考品より高い数値の銘柄もあったことから、これらには吸水性を持たせる加工が施されていると考えられます。

○吸湿性＝乾燥させた試験片を室温20℃、湿度65%に24時間放置した後の吸湿率を測定したところ、0.7(No2)～7.2%(No14)、平均2.9%、参考品は6.7%でした。もともと吸湿性の高いレーヨン、キュブラ、綿を含む銘柄

●テスト品とテスト結果

	No.	銘柄名	表示者名	組成表示	購入価格 (円)	速乾性 (分)	吸水性 (mm)	吸湿性 (%)
吸汗速乾肌着	1	BROS	(株) ワコール	ポリエステル100%	1,890	44	85	1.7
	2	le coq sportif	アイリン (株)	ポリエステル100%	890	58	108	0.7
	3	クールワン	三和 (株)	ポリエステル100%	780	43	91	1.2
	4	Kaepa	オグランジャパン	ポリエステル100%	690	40	131	1.1
	5	クーリッシュタッチ	日本被服工業 組合連合会	ポリエステル100%	395 (2p790)	59	66	1.0
	6	エアリズム	(株) ユニクロ	ポリエステル87% ポリウレタン13%	990	32	89	1.3
	7	クーリッシュファクト	イオン (株)	ポリエステル65% 綿35%	780	40	106	2.4
	8	B.V.D (スピーディドライ)	富士紡 ホールディング(株)	綿50% ポリエステル50%	788 (2p1,575)	49	138	3.4
	9	アクアジョブ	(株) 新栄	綿60% ポリエステル40%	545 (2p1,090)	44	86	3.1
	10	ボディクーラー	(株) イトーヨーカ堂	綿65% ポリエステル35%	790	53	109	3.7
	11	エアロクール	アイリン (株)	綿65% ポリエステル35%	495 (2p990)	52	70	4.4
	12	吸汗速乾	イオン (株)	綿70% ポリエステル30%	390 (2p780)	51	125	4.2
	13	COOLMAGIC	ゲンゼ (株)	ポリエステル50% キュプラ50%	2,625	67	78	4.7
	14	COOLMAGIC	ゲンゼ (株)	レーヨン65% ポリエステル35%	1,680	52	130	7.2
		平均			981	49	101	2.9
参考品	15	やわらか加工GQ 1	ゲンゼ (株)	綿100%	861	85	83	6.7

ほど吸湿性が高くなる傾向があり、合成繊維100%の銘柄の吸湿性は低い結果でした。

○耐洗濯性=洗濯10回後、寸法の変化や外観の縫製などに問題はありませんでした。

繊維の断面

繊維の断面を走査型電子顕微鏡で1000倍に拡大観察したところ、いずれのポリエステル繊維にも五角形型や十字型、W字型などの異型断面が確認できました。速乾性が最も高かったNo6は極細繊維を使用している旨の表示があり、ほかよりも細い繊維が確認できました。

吸汗速乾肌着はこのように繊維の表面積を増やすことで無数の隙間ができて毛細管現象が発生し、本来吸水性のない合成繊維にも高

い吸水性や蒸散性が備わったと考えられます。

消費者へのアドバイス

●従来肌着に使われる綿は吸水、吸湿性に優れていますが、速乾性や蒸散性(蒸れにくさ)に劣るので汗をかくと生地がぬれたままで不快感や汗冷えがあり、洗濯後の乾燥にも時間がかかります。

●吸汗速乾肌着は綿の肌着と比較し、速乾性、吸水性ともに良好ですが、吸湿性は合成繊維100%のものには認められず、レーヨン、キュプラ、綿の混用品が優れていました。

●スポーツ時など多量の汗をかき、水分を素早く拡散・蒸散させたい場合は合成繊維100%のものを、吸湿性も欲しい場合は綿、レーヨン、キュプラの混用品がよいでしょう。